



開校34周年

# 三小だより

令和5年9月1日 発行

<9月号>

江戸川区立南葛西第三小学校

校長 佐久間 貴広

## 暑い、熱い夏を終えて

今年の夏は、4年ぶりの夏祭りや花火大会の開催など、コロナ禍前の夏の風景を随所で目にすることができました。地域のお祭りや盆踊りに伺うと、子供たちが声をかけてくれたり、おいしそうな食べ物や出店で買ったであろう“夏の思い出の品”を嬉しそうに見せてくれたりしました。出店のお手伝いを頑張っている子もおり、「校長先生、〇〇が人気ですよ。」と笑顔で上手に売り込んでいきます。久しぶりにこうした夏らしい‘熱い’雰囲気を楽しませてもらいました。また、こうした時にも、「校長先生、こんにちは。」「先生、久しぶり。元気ですか。」「今日は、〇〇先生は来ますか?」としっかり挨拶や話ができる子がたくさんいることが三小の子の素敵なところです。

夏休みに入って早々に、「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した。」という国連事務総長の警告がセンセーショナルに報道されましたが、実際、夏季休業中は、熱中症アラートが出される日が続出しました。部活動帰りの女子中学生が、熱中症により亡くなるという残念なニュースもありました。練習時間を短くしたり、こまめに休憩・水分補給をしたりしていたにも関わらず起こったとのこと。何事も100%はないかもしれませんが、取り組むことのメリットよりも、命より大事なものは無いということをお大前提に、様々な取組を改めて見直す必要があるのだと思いました。

夏季休業中の学校としては、今年度から個人面談を実施しました。猛暑の中、お時間をとり、ご来校いただきありがとうございました。あゆみの所見に代わり、学校生活や学習状況について、情報共有をさせていただきました。また、保護者の皆様からも家庭での様子やお子さんの状況などについてお話を伺うこともできました。一人一人の目標や課題を明確にすることで、2学期の指導や支援につなげてまいります。よりよい連携が図れるよう、引き続きよろしく願いいたします。

また、改善されたこととして2点ご紹介します。一つ目は、学校図書館の所蔵本にバーコードが添付され、蔵書管理システムによる管理に移行されました。蔵書のデータ管理により、①貸出、返却が容易になる ②本の保管場所が検索でき、探しやすくなる ③資料の収集と除籍が効率よくできるなど、江戸川区独自の取組として進めている読書科の学習においても活用が期待できます。2学期は、リフレッシュされた本を多くの子が利用し、本の世界を楽しむ子が増えると嬉しいです。

二つ目が、今年5月に、都内小学校の児童がけがしたことにより大きく報道された校庭に残された釘や杭などの問題。本校でも、運動会前に職員で何度か確認し、不要な釘等を200本近く撤去したうえで運動会を実施しました。その後、江戸川区教育委員会により、区内全校の校庭を金属探知機で点検し、残されている釘等を撤去することが決定され、夏季休業中に本校も実施となりました。点検の結果、約450本もの不要な釘や杭等が見付かり、あまりの多さに驚きましたが、これで安心して校庭が利用できます。本校が誇る自慢の広い校庭です。まだ残暑がしばらくは続きますが、安全が確認された校庭で、2学期ものびのびと体を動かして、体を動かすことや運動に親しむ2学期にしてほしいです。

## ～研究推進部から～

研究推進部 池堂 正伸

本年は、「特別の教科 道徳」の研究を行って3年目になります。道徳科の授業を中心として教材から様々な道徳的価値について考えています。道徳科は、子供たちがより良く生きるための基盤となる道徳性を養うための時間です。また、道徳的価値とは、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりできるようになるものです。

「考え、議論する道徳」を行うために、ねらいを常に意識して日々の授業を行っています。子供たちが、教師から言われるままに生活したり学習したりするのではなく、解決すべき課題に出合い、考えを伝え合い、新たな道徳的価値を発見できる授業こそ楽しい授業であると思います。

子供たちが、課題に対し思考を深められるような発問や板書、教材の提示について熟考を重ね、発達段階に応じて価値観が変化していく道徳的な課題を子供たち一人一人が自身の課題として捉え、向き合えるような授業作りを行っています。

自分の生き方や世の中の見方を見詰め直し、より良く生きるための基盤となる道徳性を養っていきけるようにしていきたいと思います。



## ～特別支援教室紹介～

特別支援教室主任 中島 麻衣

◇特別支援教室は、学校生活が充実し、社会生活が円滑に行えるように、一人一人のめあてに応じて指導・支援をする教室です。人と円滑な関係を築いていくためのソーシャルスキルや、個々に合った学習の仕方などを、主に1対1の個別指導で学習しています。

◇特別支援教室での一人一人に合った様々な学習を通して、得意なことを増やしていくことで、児童が自分の良さを再発見し、心地良く日々の生活を送っていくことができるようになることを目指しています。

◇詳細は、ホームページ内の「特別支援教室ゆりのき」を御覧ください。



《このような心配があれば御相談ください》

◎集団生活や友達との関わりに苦手意識をもっている

◎自分の思いを伝えることや気持ちの切り替えが難しい

◎前向きに学習に取り組むことができない、授業に集中できない など

<特別支援教室 直通：03-3878-2671>



## ～ことばの教室（通級指導教室）紹介～

ことばの教室 木下 優作

◇ことばの教室（通級指導教室）は、

①構音障害【いただきます→いただきます等の発音誤り】

②吃音【お、お、…おはよう、おーはよう等どもる】

③言語発達面【平仮名が覚えられない、漢字が書けない等】

以上の3つの主訴に応じて、一対一の個別指導で学習しています。

◇児童の特性や学び方を、様々な検査や行動観察で正確に見立て、根拠をもって指導しています。



《このような心配があれば御相談ください》

◎発音が正しくできない、何を言っているか聞き取りにくい。

◎話し始めを繰り返したり、引き伸ばしたり、言葉が出にくかったりする。

◎語彙が少ない、カタカナや漢字、拗音（やゆよ）や促音（っ）の読み書きができない。

<ことばの教室 直通：03-3689-4121>

